

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 第2回守山まるごと活性化プランAプロジェクト会議

日時：平成28年7月31日(日)午前10時から

場所：守山会館2階 図書室

出席者：伴野学区長、井上代表、和田副代表、竹村、小嶋、本城、梅景、窪田、山本、杉本

出席者(行政)：地域振興・交通政策課 坪内課長、市民協働課 高田係長、守山会館 田中館長、菅主事

使用資料：前回議事録、Aプロジェクト進行計画表、課題：行政等について・事業について・会員について、大分市自治会ハンドブック(抜粋)、課題と対策取りまとめ書

議題

1. 事業について(前回からの続き)
2. 自治会ハンドブックについて

会議要旨

内容

1. 事業について(前回からの続き)

○社会情勢に行事等も変える必要がある

＜各自治会の現状＞

- ・運動会の選手選出に苦労している。
- ・敬老会について対象者が増加傾向にある。
- ・子育てサロン、防災訓練等はほとんどの自治会で実施している。

【意見】

- ・自治会単位で子育てサロンを実施するには、子育てサポート以外の目的も必要ではないか。(例えば防災上での地域コミュニティの確立)
- ・子育てサポートであれば近隣自治会の子育てサロンに参加できるような体制があれば良い。
- ・行政の取り組みのみで全てカバーできるなら自治会単位とする必要はない。
- ・地域で地域の住みよさを考え、必要だと思う事業に取り組むべきでは。それぞれの地域の実情に合った取り組みをしていけば良い。実施する目的や理由は自治会が明確にしておくべき。

○空き家の増加と庭の管理・火災・防犯などの問題

【意見】

- ・自治会費の徴収については自治会によって様々。空き家の火災・防犯等地域で見守っているの、いただいているところもある。

○独居老人の増加とその安全の確保

【意見】

- ・一人暮らしの高齢者については民生委員さんが訪問してくださるので、独居老人に対して自治会で特別何かするということはない。敬老会の開催・お祝い品を届けるのみ。
- ・行政が対応するべきではないか。

(裏面に続く)

決定事項

次回「会員について」協議していく

次回以降について

平成28年8月21日(日)10:00から

会議要旨

内容

2. 自治会ハンドブックについて

- ・自治会の役割等、共通するところは大分市市民協働推進課の自治会ハンドブックを参考に作成していく。今年度中に完成させることを目標にする。
- ・市としては作成せず、プロジェクトで「守山学区」として作成する。
- ・Aプロジェクトで原稿を作成し、自治会長会で内容を確認して「自治会長会」が発行してはどうか。
- ・事例集やQ&Aがたくさん載っていると参考になって良い。防犯灯が切れたとき・補助金のこと等。
- ・完成後は他の学区にも紹介できれば。

●HP(様式集の掲載)の進捗状況について

- ・市民協働課の「わ」で輝く自治会応援報償事業については様式をHPに掲載済。
- ・他課についても自治会関係の申請様式などHPに掲載するよう周知・徹底していく。各課のページに掲載するのではなく、ひとまとめにして一カ所に掲載する予定。
- ・自治会長印の押印を省略できるように、ネット上で手続きできるようになれば嬉しい。
- ・自治連合会のHPなどで自治会長用のHPをつくることはできないか。